

【日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン 2027 (J-ReCIP2027)

クリニカルクエスション(CQ)一覧】

- CQ1 重症患者に対して、強化型プロトコルを用いたリハビリテーションを行うか？
- CQ2 人工呼吸管理中の重症患者に対して、吸気抵抗負荷デバイスを用いた吸気筋トレーニングを行うか？
- CQ3 重症患者に対して、神経筋電気刺激または/および床上エルゴメータを行うか？
- CQ4 重症患者における摂食嚥下機能のスクリーニング評価プロトコルは？
- CQ5 摂食嚥下機能障害のリスクが高い重症患者に対して、嚥下内視鏡検査に基づいたマネジメントを行うか？
- CQ6 重症患者に対して、摂食嚥下機能に関わるリハビリテーション治療を行うか？
- CQ7 栄養状態が不良または栄養投与量が少ない重症患者において、離床を進める際に留意すべき点は何か？
- CQ8 ICU 入室早期からリハビリテーションを行う重症患者において、タンパク質を強化した栄養療法を行うべきか？
- CQ9 重症患者に対して、ICU 退室後に強化リハビリテーションと強化した栄養療法を行うか？
- CQ10 小児重症患者に対して、プロトコルを用いたリハビリテーションを行うか？
- CQ11 急性期人工呼吸管理中の小児重症患者に対して、呼吸理学療法を行うか？
- CQ12 重症患者に対して、ICU 退室から退院までの期間に強化運動療法を行うか？
- CQ13 重症患者に対して、退院後の非対面リハビリテーションを行うか？
- CQ14 重症患者の家族に対して、リハビリテーション参加を促すか？

CQ15 重症患者の認知機能に対するリハビリテーションの適応は？

CQ16 重症患者の認知機能障害の頻度とスクリーニング方法は？

CQ17 重症患者に対して、認知機能に関わるリハビリテーションを行うか？

一般社団法人 日本集中治療医学会

重症患者リハビリテーション診療ガイドライン委員会

委員長 對東 俊介

担当理事 高橋 哲也